

Fukutsu City 20th Anniversary

福津市の20年

2005年に福津市が誕生して20年。
市民とともに、地域とともに歩んだ福津市の20年の時を刻む



2005.1.24
福津市誕生
福間・津屋崎町それぞれで閉庁式を行い、1月24日に福間・津屋崎庁舎で閉庁式を行いました。

第一次まちづくり計画

「人を、明日を、誇るまち。福津。」



児童センター FUCSTA (フクスタ) 開館
まちおこしセンター 津屋崎千軒なごみ開館



2007.5
「郷づくり」スタート
「地域分権」のまちづくりを目指して

「郷」という字には「古里」という意味があります。そこで、みんなの力で温かな「古里」をつくらうという願いを込めて「郷」を「さと」と読み、地域づくりのことを「郷づくり」と名付けました。

- **2005** 福津市誕生/津屋崎古墳群が国指定史跡に登録される/福津市魚センターがグランドオープン
- **2006** 「津屋崎千軒通り藍の家」が第18回福岡県美しいまちづくり賞優秀賞を受賞/福津市観光協会が発足/福間駅東土地区画整理事業で本格的な造成工事に着手/福津市地域包括支援センターを開設/のびのび発達支援センターを開設
- **2007** 西鉄宮地岳線の一部(新宮/津屋崎)が廃線となる/「郷づくり」活動が始まる/津屋崎千軒民俗館藍の家の主屋と井戸屋形が市内で初めて国の登録有形文化財に登録
- **2008** ふくつミニバスが運行開始/九州実業団対抗女子駅伝競走大会(現在のプリンセス駅伝)が福津と宗像で開催
- **2009** 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が国内の世界遺産暫定一覧表に追加記載される/福津市まちおこしセンター「津屋崎千軒なごみ」が開館/福津ブランド「福津の極み」が商標登録される
- **2010** 福津・宗像市の上水道事業を宗像地区事務組合に統合/市道「四角両谷線」・「西郷新橋」が開通
- **2011** JR福間駅の自由通路が開通/福津市行政・観光情報ステーション「ふつくる」が開館/ふくつの鯛茶づけフェアが始まる
- **2012** イオンモール福津がグランドオープン/福津暮らしの旅が始動
- **2013** 福津市児童センターFUCSTAが開館/男女共同参画都市宣言10周年
- **2014** 福間駅東土地区画整理事業が完了。日蔭野地区誕生/津屋崎祇園山笠が発足300年、復活40周年を迎える/宮地浜に夕陽風景時計が設置される/畦町に世界一小さな蚕博物館が完成
- **2015** 市制10周年記念式典を開催/市の木を「松」、市の花を「あなずの花」「菜の花」に決定/人口が6万人に到達/「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産推薦候補に決定
- **2016** 市役所を福間庁舎に統合/津屋崎行政センターが開所/宮地嶽神社「光の道」が注目される
- **2017** 津屋崎庁舎を改装しカメラアステージが開館/「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコ世界遺産一覧表に記載される
- **2018** あんずの里市がリニューアル/県道飯塚福岡線 見坂トンネル開通/地域商社「福津いっさい」を設立/古賀市と共同で東京2020オリンピックルーマニア柔道チーム事前キャンプ基本合意書に調印
- **2019** お魚センターうみがめがリニューアル/SDGs未来都市に選定される
- **2020** 福津市イメージソング「You, re my home」が完成/来店客が激減する市内の飲食店を「#福津エール飯」で応援/子育て支援アプリ「こどもの国」を導入
- **2021** 新型コロナウイルスの接種が始まる/東京2020オリンピック聖火リレー/ふくつ古墳馬車の運行終了
- **2022** 藍の家が築120年/パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入/郷育カレッジ20周年/福津市未来共創センターキッカケラボを開館/福津市ゼロカーボンシティ宣言
- **2023** 福津市基幹相談支援センターが始動/男女共同参画都市宣言20周年
- **2024** 豊村酒造旧醸造場施設が国の重要文化財に指定/津屋崎祇園山笠復活50周年
- **2025** 福津市が市制20周年を迎える/旧玉乃井旅館が国の登録有形文化財に登録



現在の人口▶まもなく7万人!

69,280 人

一時5万5千人台まで減少したものの、その後は年々増加していきました。

住み続けたい街ランキング (2023)

福岡版 1位

不動産会社による街の住みこちランキングで高く評価されました。



SDGs 未来都市に選定

持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けて戦略的に取り組む自治体として選定され「市民共働で推進する幸せのまちづくり」をテーマに取り組みを進めています。



第二次まちづくり計画
「人も自然も未来につながるまち、福津」

旧津屋崎庁舎は、市複合文化センター「カメラアステージ」へ



令和2年国勢調査

人口増加率全国 **6位**

令和2年の国勢調査にて、福津市は人口増加率全国6位となり注目を集めました。



2024.1
豊村酒造旧醸造場施設が国の重要文化財に指定

2020. グッドデザイン賞受賞

九州大学や市民との共創によって制作した「子育てサービスマップ」「子育て支援ガイドブック」「子育て支援アプリ」が市民に分かりやすい行政サービスを構築したとしてグッドデザイン賞を受賞しました。



2025.3
旧玉乃井旅館が国の登録有形文化財に登録



2017.7
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコ世界文化遺産登録

新原・奴山古墳群を含む「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録されました。諮問機関であるイコモスが5月に出した厳しい勧告から一転、逆転での全資産一括登録に市民や関係者は歓喜の渦に包まれました。

福間駅周辺インフラ整備



2004~2014
国道3号と市街地を結ぶ道路網の整備や、JR福間駅の利便性を活かした福津市の「核づくり」として、住宅地と事業用地の整備を行いました。

合併時の人口

56,502 人

誕生(合併)の背景

福津市

市の名称「福津市」には「幸福が集まる津(港、場所)」や「津々浦々まで幸福であるように」などの思いが込められています。市の名称を募集した際には、全国から3,064通(698種類)が寄せられ「北筑前市」「宮地岳市」「うみがめ市」などのアイデア溢れる名称の中から福津市が選ばれました。

